

BRIAN ENO AMBIENT KYOTO

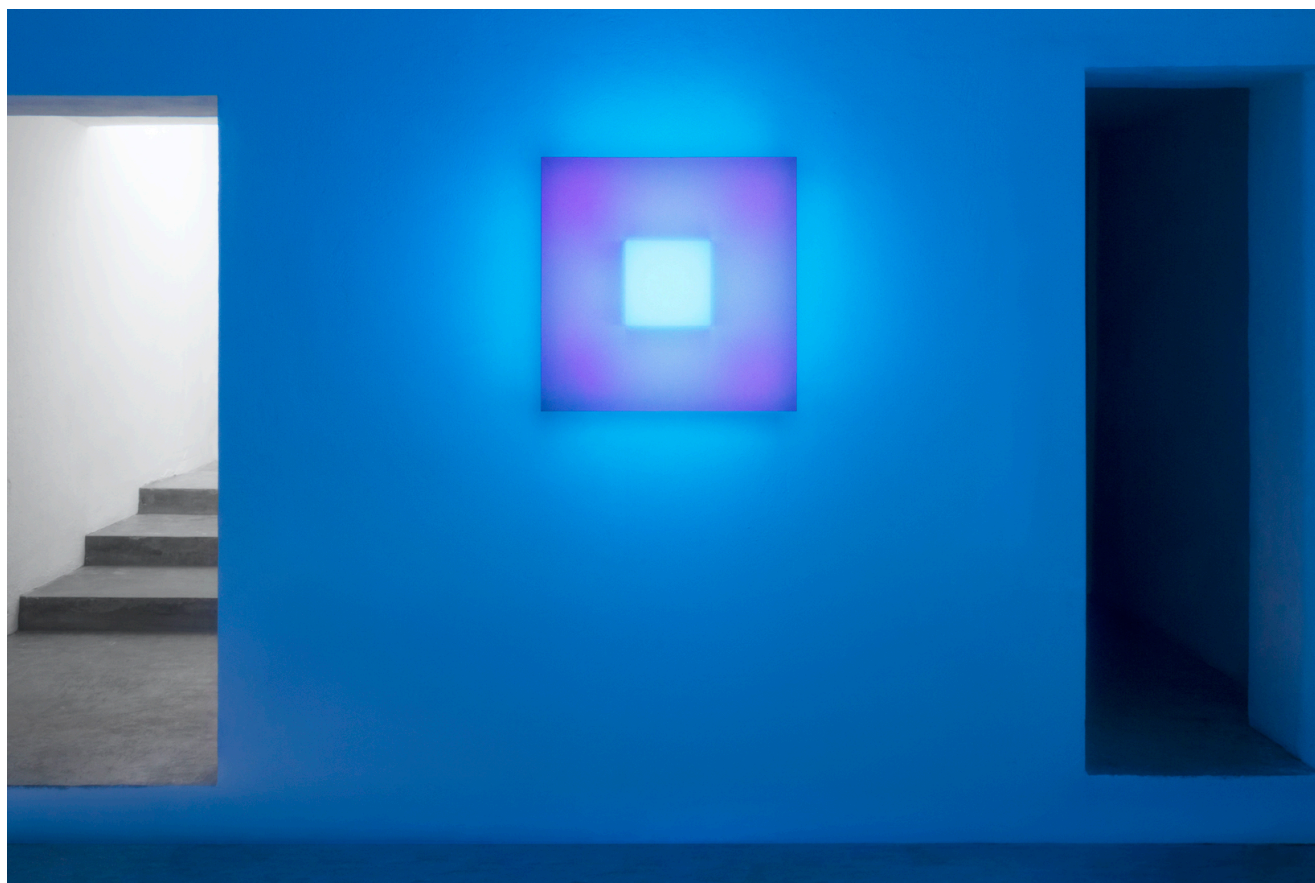
ヴィジュアル・アートに革命をもたらしたブライアン・イーノによる音と光の展覧会

BRIAN ENO AMBIENT KYOTO

会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター

会期：2022年 6月3日（金）～ 8月21日（日）

**国内最大規模の大展覧会、いよいよ6/3（金）開幕！
最新情報のご案内**



メディアお問合せ先

HOW INC

MAIL pressrelease@how-pr.co.jp TEL 03-5414-6405 FAX 03-5414-6406

お客様お問合せ先

BRIAN ENO AMBIENT KYOTO info@ambientkyoto.com

<https://ambientkyoto.com>



BRIAN ENO AMBIENT KYOTO 最新情報

- グッズや作品が買えるブライアン・イーノ公式ストア『ENOSHOP』が京都と東京に登場。
京都の展覧会場と、東京は期間限定で代官山 蔦屋書店にオープン！
- 日本初公開音源『The Lighthouse』が追加公開決定！
- 展覧会開催を記念し、入手困難となっていた90年代を代表する名盤4作に、
超レア盤『77 Million』を加えた5タイトルが一挙再発決定！
- 『イーノ入門』が刊行！全音楽キャリアをまとめたディスクガイド本。
- ブライアン・イーノ、デヴィッド・ボウイ、アンディ・ウォーホル。
京都で相次ぎ開催される世界のカルチャー・シーンを牽引してきたレジェンドに焦点を
あてた3展覧会の相互割引が発表！

ヴィジュアル・アートに革命をもたらした英国出身のアーティスト、ブライアン・イーノによる国内最大規模の大展覧会「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」が、京都を舞台にいよいよ2022年6月3日（金）より開幕します。開幕を間近に控え、一般前売りチケットの売り行きも大変好調な展覧会の追加情報をお知らせします。

世界初公開作品と、主要3作品全てが一堂に会する大展覧会に新たに追加されるのは、会場内と東京の代官山 蔦屋書店の2拠点で開設されるブライアン・イーノ公式ストア『ENOSHOP』と、会場全体に流れる日本初公開の音源『The Lighthouse』です。

また、世界のカルチャー・シーンを牽引してきたレジェンド、ブライアン・イーノ、デヴィッド・ボウイ、アンディ・ウォーホルに焦点をあてた展覧会が、今年相次いで京都で開催されるのを記念して、3展覧会の相互割引が発表されました。

『ENOSHOP』 京都・東京を横断して展開。

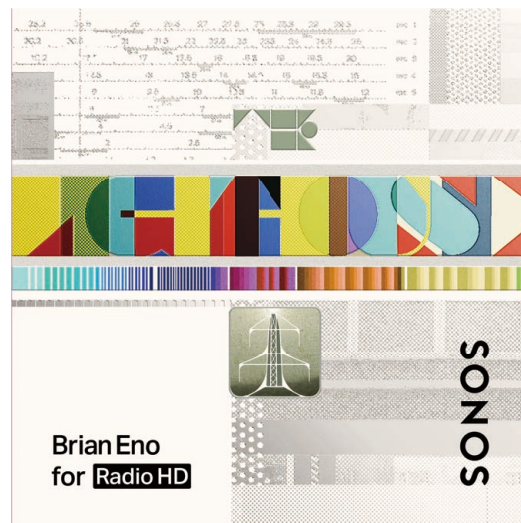
『ENOSHOP』は、本展覧会用に制作された図録などのオフィシャル・グッズ、イーノが70年代に考案したクリエイターズ必携アイテム『オブリーク・ストラテジーズ』、限定アート・プリント、LP・CD・DVDといった音楽・映像作品まで、イーノ作品を取り扱う専門ストアです。本会場のみならず、東京の代官山 蔦屋書店の全館でも展開され、イーノのアーティスト活動の全貌を見渡せるような、本展覧会のスケールにふさわしい豪華な展開となります。

展覧会のオフィシャル・グッズは、図録、Tシャツ、トートバッグ、和菓子の4点。図録は、イーノ書き下ろしのエッセイと、アート・スクールから現在に至るまでのヴィジュアル・アーティストとしての軌跡を収めた内容です。Tシャツとトートバッグは、本展覧会のキー・ヴィジュアルを大胆にプリントしたものとなり、また京都の老舗和菓子店、鍵善良房による特製和菓子が京都限定で販売されます。デザイン、販売価格など詳細は追ってご案内します。その他、イーノが70年代に考案したクリエイターズ必携アイテム『オブリーク・ストラテジーズ』、限定アート・プリントといった輸入グッズから、LP・CD・DVDといった音楽・映像作品などを販売するスペースとなります。

『ENOSHOP』 代官山 蔦屋書店 | 期間：2022年6月3日(金)～7月14日(木)

代官山 蔦屋書店では、全館を跨ぎ、デザインフロア、ミュージックフロア、シェアラウンジの3つのフロアを使用しそれぞれの切り口でブライアン・イーノを大展開。期間中に館内に設置されたSonosスピーカーからはブライアン・イーノの膨大な未発表作品のアーカイブ『The Lighthouse』の音源が流れます。

日本初公開音源『The Lighthouse』が追加公開決定！

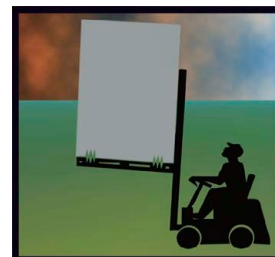
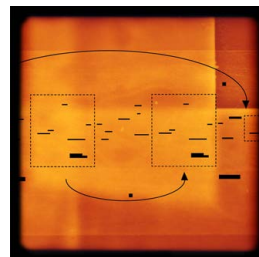
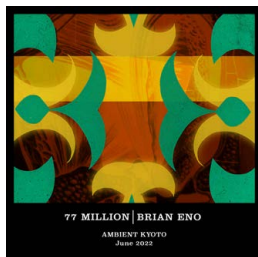


日本初公開となる『The Lighthouse』は、展覧会の作品『Light Boxes』と『Face to Face』に加え、Sonosスピーカーを通じて会場内の廊下や階段、化粧室などで流れるオーディオ作品です。各展示や会場内をシームレスにつなぐことで、どこにいても音を体感できます。

『The Lighthouse』は、ブライアン・イーノの膨大な未発表作品のアーカイブに特化した限定ラジオ・ステーションとしてSonos Radio HDにて公開中。「Sonos Radio HD」は、オーディオ機器メーカー、Sonosのユーザーが利用できるストリーミング・サービスです。（現在日本では未公開）

全作品のラインナップは、世界初展示となる作品『Face to Face』、そしてイーノのヴィジュアル・アートを代表する3作品『77 Million Paintings』、『The Ship』、『Light Boxes』の合計4作品です。また、日本初公開となる音源『The Lighthouse』が、作品展示室のみならず、展示室以外の全てのスペースにてシームレスに流れ、築90年の歴史ある建築物である会場がまるごとイーノの作品で彩られることとなりました。

90年代を代表する名盤4作に超レア盤『77 Million』を加えた5タイトルの再発盤が紙ジャケ・高音質で蘇る！



入手困難となっていたブライアン・イーノの90年代を代表する名盤『Nerve Net』『The Shutov Assembly』『Neroli』『The Drop』の4作、さらに2006年にラフォーレ・ミュージアム原宿で開催された、イーノの音楽映像インスタレーション展『77 Million : An Audio Visual Installation by Brian Eno』の会場でのみ1000枚が限定販売されたもので、会期中の早期には完売となっていた激レア盤『77 Million』を加えた5タイトルを一挙再発決定！各作品には、本展覧会で日本初公開される『The Lighthouse』の音源が初CD化のボーナストラックとして収録され、オリジナルブックレット訳と最新版の日本語解説を加えた解説書を封入されます。音源は高音質UHQCD(Ultimate High Quality CD)、パッケージはミニLP仕様の紙ジャケ仕様での再発となり、京都と東京の『ENOSHOP』では先行販売され、一般発売は6月10日となる。

『イーノ入門』が刊行！全音楽キャリアをまとめたディスクガイド本。

イーノの全音楽キャリアをまとめたディスクガイド本『別冊ele-king イーノ入門——音楽を変革した非音楽家の頭脳』がele-kingより刊行されました。

アンビエント・ミュージックの発案者であり、ポップと実験音楽を横断する希代の芸術家である巨匠ブライアン・イーノの全音楽キャリアを俯瞰する保存版です。



全音楽キャリアを俯瞰するディスクガイド、一挙60枚レビュー！

非音楽家の誕生／オブスキュアの革命／サティ、ケージ、ライヒからイーノへ／ボウイのベルリン三部作／クラウトロックとのつながり／アンビエントの発案／トーキング・ヘッズとの蜜月／『No New York』の衝撃／ドゥワーフからヴェルヴェット・アンダーグラウンド、ドナ・サマーまで／ポスト・パンク時代の門下生たち／ジョン・ハッセルとの絆／アフリカ音楽への熱狂／スターたちのプロデューサー／政治的アクティヴィストとして／ほか

執筆：野田努、小林拓音、松村正人、三田格、坂本麻里子、高橋智子、イアン・F・マーティン (Ian F. Martin)、ジェイムズ・ハッドフィールド (James Hadfield)、松山晋也、北中正和、篠原雅武、徳井直生、廣瀬豊、毛利嘉孝

翻訳：江口理恵

装丁：鈴木聖

菊判220×148mm／アジロ並製／256ページ

出版元：ele-king編集部（編）

発売日：2022年5月25日 / 定価：本体 1,950円＋税

<http://www.ele-king.net/books/008643/>

世界のカルチャー・シーンを牽引してきたレジェンド、ブライアン・イーノ、デヴィッド・ボウイ、アンディ・ウォーホルの3展覧会開催記念～相互割引のお知らせ。

ヴィジュアル・アートに革命をもたらした英国出身のアーティスト、ブライアン・イーノ。生誕75周年、名盤「ジギー・スターダスト」誕生50年を迎える世界的ロックアーティスト、デヴィッド・ボウイ。ポップアートの旗手として、アメリカの大量消費社会の光と影を描いた、アンディ・ウォーホル。

新旧文化が入り混じり伝統と革新の文化都市・京都で、この3大アーティストに焦点を当てた展覧会が相次ぎ開催されます。この3展覧会の開催を記念し、お得に観覧できる3展覧会の相互割引を実施します。

【各展覧会の概要】

●『BRIAN ENO AMBIENT KYOTO』

会 場: 京都中央信用金庫 旧厚生センター (京都市下京区中居町七条通烏丸西入113)

会 期: 2022年6月3日(金)~2022年8月21日(日) ※休館日: なし

公式ホームページ <https://ambientkyoto.com/>

●『時間~TIME. BOWIE×KYOTO×SUKITA リターンズ 鋤田正義写真展』

会 場: 美術館「えき」 KYOTO(京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町 ジェイアール京都伊勢丹7階隣接)

会 期: 2022年6月25日(土)~7月24日(日) ※会期中無休

公式ホームページ https://kyoto.wjr-isetan.co.jp/museum/exhibition_2206.html

●『アンディ・ウォーホル・キョウト / ANDY WARHOL KYOTO』

会 場: 京都市京セラ美術館 新館「東山キューブ」(京都市左京区岡崎円勝寺町124)

会 期: 2022年9月17日(土)~2023年2月12日(日)

※月曜日休館(但し祝日の場合は開館)、12月28日~1月2日

公式ホームページ <https://www.andywarholkyoto.jp/>

【相互割引の内容】

3展覧会をお得に巡ることが出来る相互割引を実施します。割引額等は下記をご確認ください。

●「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」を観覧後、

- ・「時間~TIME BOWIE×KYOTO×SUKITA リターンズ 鋤田正義写真展」観覧の場合 →当日料金から100円オフ
- ・「アンディ・ウォーホル・キョウト / ANDY WARHOL KYOTO」観覧の場合 →当日料金から100円オフ

●「時間~TIME BOWIE×KYOTO×SUKITA リターンズ 鋤田正義写真展」を観覧後、

- ・「BRIAN ENO AMBIENT KYOTO」観覧の場合 →当日料金から100円オフ
- ・「アンディ・ウォーホル・キョウト / ANDY WARHOL KYOTO」観覧の場合 →当日料金から100円オフ

※それぞれ、会場での当日券販売に限ります。 ※一般料金のみに限ります。

※他の割引との併用はできません。

※いずれも1枚につき1名、各館とも1回限りの適用となります。

【相互割引に関するお問い合わせ先】

京都新聞COM事業推進局

〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上る

TEL:075-255-9757(平日午前10時~午後5時) / mail:keikaku@mb.Kyoto-np.co.jp

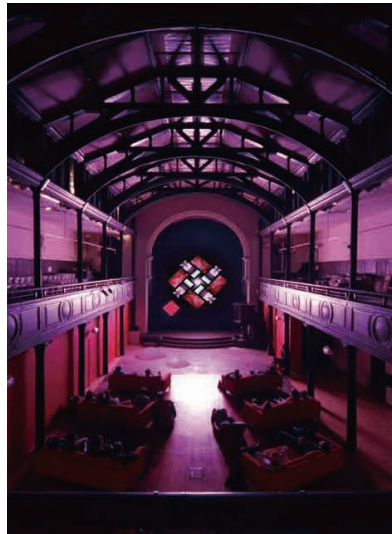
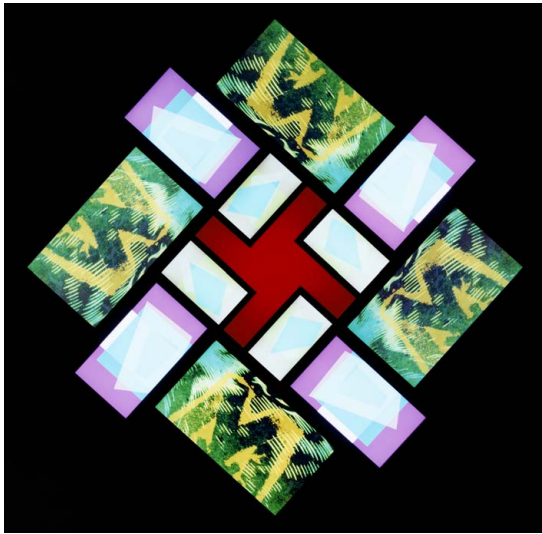
展示作品より 1/2

ブライアン・イーノの代表作『77 Million Paintings』、『The Ship』、『Light Boxes』の3作品全てが一堂に会することに加え、世界初公開作品『Face to Face』が展示発表されます。

*本資料の写真は、過去の展覧会の写真を使用しています。

①『77 Million Paintings』（『77 ミリオン・ペインティングス』）

途絶えることなく変化する音と光がシンクロして生み出される空間芸術作品。「7700万」というのはシステムが生み出すことのできるヴィジュアルの組み合わせを意味しています。2006年ラフォーレミュージアム原宿にて世界で初めて出展、その間アップデートを繰り返しながら世界各地を巡回すること47回、世界中のアート・ファンを魅了し、ヴィジュアル・アート界を代表する作品となりました。2022年、16年ぶりに帰還します。



音

途絶えることなく変化する音、雨や風のようにその環境の一部となる音楽。



光

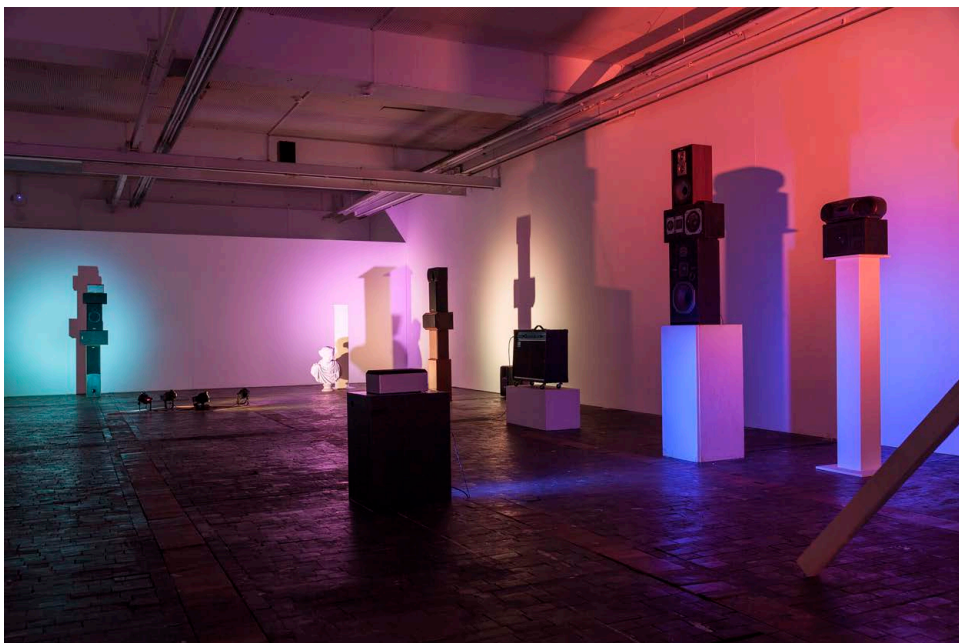
イーノは映像アート作品でも音と同様、ヴィジュアルが途絶えることなく変化するを彼の芸術の目指すところとして数々の作品を発表してきた。



77 ミリオン・ペインティングス

②『The Ship』（『ザ・シップ』）

代表的なオーディオ・インスタレーション作品。多数の個性的なスピーカーから個別の音が鳴ることで、場所によって違う音が聴こえ、また部屋の中を移動すると個別のスピーカーから出る音を自発的にミックスすることもできます。そして、スピーカーが視覚的特徴となるよう、照明などで空間を演出しています。



展示作品より 2/2

③ 『Light Boxes』（『ライト・ボックス』）

光りながら常に新たな色彩の組み合わせへと変わってゆく、LED技術を駆使した光の作品。作品の表面下にあるボックスが照らされ、光の色の組み合わせがゆっくりと変化すると共に、作品に対する見方も変化し、流れるような光の魅惑的な世界に引き込まれます。



④ 『Face to Face』（『フェイス・トゥ・フェイス』）

世界初公開作品。ランダムなパターンとその組み合わせによって、予期せぬアート作品を生み出す可能性を追求した作品。この作品は、実在する21人の人物の顔をそれぞれ1枚の静止画に収めた小さな写真群から始まった。特殊なソフトウェアを使い、画像は1つの本物の顔から別の顔へと、ピクセル単位でゆっくりと変化していく。これが、実際には存在しなかった人々、中間的な人間など、一人一人の本物の顔の間に「新しい人間」の長い連鎖を生み出し、毎秒30人ずつ、36,000人以上の新しい顔を誕生させることができます。



展覧会のみどころ

1. ヴィジュアル・アートに革命をもたらしたイーノの空間芸術。

「川のほとりに座っているような、絶え間ない変化と同時に不変の体験をしたかったのです」

——ブライアン・イーノ

イーノは音楽制作において、反復でない、途絶えることなく続き、そして常に変化する音楽を作ることに尽力し、その音楽を「ジェネレーティヴ・ミュージック」と提唱し作品を発表してきました。その手法をヴィジュアルの分野でも用い、音と光の双方が途絶えることなく常に変化し、そしてシンクロしあう、「ジェネレーティヴ・アート」という空間芸術をつくりあげ、ヴィジュアル・アート界に革命をもたらしました。

2. その空間のその時にしか体験できない、参加型展覧会。

興味深く聞くことも、ただ聞き流すことも、無視することもできるというリスナー主体の、あらゆる聞き方を受容する「アンビエント・ミュージック」。

その創始者であるイーノは、展覧会においても、観客のあらゆる接し方を受容する空間を作り上げました。

絶え間なく変化し続ける音と光がシンクロする空間において、観客は、いつきたのか、部屋のどこにいたかによって他の誰とも違う体験をすることができます。

この観客が主体となる本展は、その空間のその時にしか体験できない参加型の展覧会です。

3. コロナ禍に行われる初の大規模な展覧会。

本展は、コロナ禍において、イーノによるはじめての大規模なインスタレーションとなります。

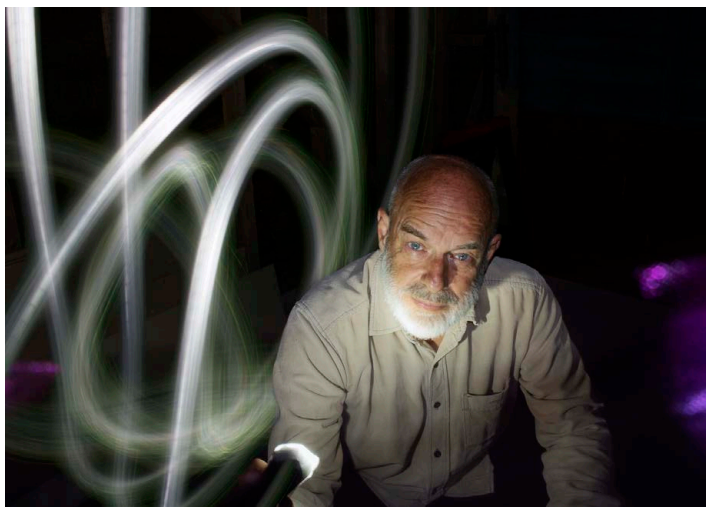
芸術家としての活動のみならず、環境問題など社会活動にも早くから取り組んできたイーノが、世界的文化都市、京都で、どのようなメッセージを発するののか、日本のみならず世界が注目する中、2022年6月に開幕を迎えます。会場は、築90年の歴史ある建築物「京都中央信用金庫 旧厚生センター」を、建物丸ごとイーノのアートで彩ります。

会場：京都中央信用金庫旧厚生センター



BRIAN ENO

<https://ambientkyoto.com/brian-eno>



「アートは人々に何かをもたらすために存在しているのではないか」。このイーノの問いかけは彼の芸術を、革新的であると同時に人々に広く開かれているものになっている。ヴィジュアル・アートのパイオニアとしてのみならず、アンビエントの創始者であり、世界で最も多く聞かれたサウンドのひとつWindows95の起動音を制作したように、彼の活動は、われわれの身近なカルチャーや生活にまで及ぶ。さらに彼は、世界的なプロデューサーであり、環境問題をはじめとする社会活動にいち早く取り組んできたアクティヴィストでもある。 Photo by Cecily Eno

① ヴィジュアル・アートのパイオニア

音と光がシンクロしながら途絶えることなく変化し続ける空間芸術。イーノが提唱したこの「ジェネレーティヴ・アート」は、ヴィジュアル・アートに革命をもたらした。

② アンビエント・ミュージックの創始者

興味深く聞けることも、聞き流すことも、無視することもできるという、あらゆる聞き方を受容する「アンビエント・ミュージック」。それは発想の転換であり、20世紀の音楽文化におけるもっとも重要な革命のひとつ。

③ アクティヴィスト

よりよい社会を目指して早くから社会的活動を行ってきたイーノは、気候変動問題の解決を目的とした慈善団体「EarthPercent」を新たに設立。本イベントも収益の一部を寄付。earthpercent.com

④ 歴史的なプロデューサー

デヴィッド・ボウイ、U2、コールドプレイと手掛けた作品が世界的なヒット、そしていずれもが音楽史に名を残す名盤に。イーノは常に大衆文化との接点を大切にしつつ、そこに自分の芸術性を融合させることも忘れない。

⑤ トリビア Windows95 の起動音の制作、新小惑星に「イーノ」の名が冠される。

プロフィール

ミュージシャン、プロデューサー、ヴィジュアル・アーティスト、アクティビスト。

70年代初頭にイギリスのバンド、ロキシー・ミュージックの創設メンバーの一人として世界的に注目を集め、その後、一連のソロ作品や様々なコラボレーション作品を世に送り出しています。プロデューサーとしては、トーキング・ヘッズ、ディーヴォ、U2、ローリー・アンダーソン、ジェイムス・ジェーン・シベリー、コールドプレイなどのアルバムを手がけ、デヴィッド・ボウイ、ジョン・ハッセル、ハロルド・バッド、ジョン・ケイル、デヴィッド・バーン、グレース・ジョーンズ、カール・ハイド、ジェイムス・ブレイク、そして実弟のロジャーとコラボレーションを行なっています。音楽活動と並行して、光や映像を使ったヴィジュアル・アートの創作活動が続け、世界中で展覧会やインスタレーションを行っています。ロジャー・イーノとは、初の兄弟デュオ・アルバム『ミキシング・カラース』(2020年)をリリースしました。これまでに40枚以上のアルバムをリリースし、ヴェネツィア・ビエンナーレ、サンクトペテルブルクのマーブル・パレス、北京の日壇公園、リオデジャネイロのアルコス・ダ・ラバ、シドニー・オペラハウスなど、広範囲に渡ってアート・エキシビションを行なってきました。長期に渡るスパンで文化的施設や機関の基盤となることを目的とする「Long Now Foundation」の創設メンバー、環境法慈善団体「ClientEarth」の評議員、人権慈善団体「Videre est Credere」の後援を務めています。2021年4月には「EarthPercent」を立ち上げ、音楽業界から資金を集めて、気候変動の緊急事態に取り組む最も影響力のある環境慈善団体への寄付を行っています。

Website	https://brian-eno.net
Twitter	https://twitter.com/brianeno
Instagram	https://www.instagram.com/brianeno/

開催概要

「ありきたりな日常を手放し、別の世界に身を委ねることで、自分の想像力を自由に発揮することができるのです」—— ブライアン・イーノ

タイトル：BRIAN ENO AMBIENT KYOTO（ブライアン・イーノ・アンビエント・キョウト）

会場：京都中央信用金庫 旧厚生センター

住所：京都市下京区中居町七条通烏丸西入113

会期：2022年6月3日（金）-8月21日（日）

開館時間：11:00 - 21:00 入場は閉館の30分前まで

チケット：

●チケット購入サイト

<https://www.e-tix.jp/ambientkyoto/>

●チケット発売スケジュール

・一般前売チケット：5月9日（月）～6月2日（木）

・一般チケット：6月3日（金）～8月21日（日）

*前売チケット販売は、上記チケット購入サイトでのオンラインのみの取り扱いとなります。

●チケット料金

[一般前売チケット]

平日：一般（大人）¥1,800 / 専・大学生 ¥1,300 / 中高生 ¥800

土日祝：一般（大人）¥2,000 / 専・大学生 ¥1,500 / 中高生 ¥1,000

[一般チケット]

平日：一般（大人）¥2,000 / 専・大学生 ¥1,500 / 中高生 ¥1,000

土日祝：一般（大人）¥2,200 / 専・大学生 ¥1,700 / 中高生 ¥1,200

*小学生以下無料

主催：AMBIENT KYOTO実行委員会（TOW、京都新聞）

企画・制作：TOW、Traffic

協力：α-station FM KYOTO、京都METRO、CCCアートラボ

後援：京都府、京都市、ブリティッシュ・カウンシル、FM COCOLO

機材協賛：Genelec Japan、Bose、Magnux、静科、SONOS

特別協力：Beatink、京都中央信用金庫

公式ホームページ: <http://ambientkyoto.com>

Twitter: <https://twitter.com/ambientkyoto>

Instagram: <https://www.instagram.com/ambientkyoto>

Facebook: <https://www.facebook.com/ambientkyoto>

会場 アクセスマップ

（京都中央信用金庫 旧厚生センター）

〒600-8219京都市下京区中居町七条通烏丸西入113

アクセス

・電車：JR京都駅より徒歩5分

・市バス：烏丸七条バス停より徒歩1分

*東本願寺の南に隣接

